

禁煙しましょう

歯周病の発症や進行は生活習慣と深く関連しています。
ストレスや食生活の乱れもそうですが、喫煙は歯周病の大きな危険因子です。

喫煙者の**歯周病発症リスク**は非喫煙者と比べて**約3倍高い**と言われています。
喫煙は、歯肉の血流を低下させ、歯周病菌を増やしたり、歯周組織の免疫力も弱めます。
また歯周病の進行も早め、治療しても治りにくくさせます。
受動喫煙でも歯周病発症のリスクは高くなります。



- 歯肉の血流が低下
- 歯肉炎が進行する
- 歯周組織の免疫力が低下
- 歯周組織の修復機能が低下



NO SMOKING



禁煙すると..



- 歯周病が改善
- 口腔がんのリスクが減少
- 味覚が正常に
- 同居家族の受動喫煙がなくなる

健康保険組合では禁煙のサポートを実施しています。
禁煙外来の相談、禁煙補助薬を使って禁煙成功した際の費用補助制度等、健保ホームページをご覧ください。